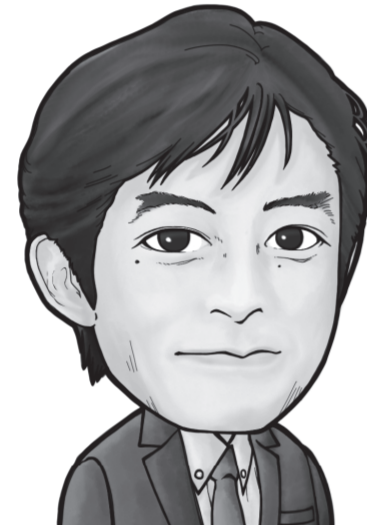


参議院大分県選出議員選挙
選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	
連絡場所	電話 ()



世 中を支えているのは、それぞれの場所でまじめに働いたり、子育てをしたりなど、ごく当たり前のように生活している人々です。そのような人々がより豊かに暮らしていけるように、サラリーマン時代に培った現場主義にこだわり、人々の日々の暮らしからの声や地方のリアルな声を国の政治に生かします。

政 治が「右か左か」「保守か革新か」といったくりで語られることに、私は違和感を覚えます。イデオロギーを超えて、一緒にやれることがあれば共にやる、別々にやる方がよいことはそれぞれで頑張る。ものごとの決め手や解決策は、右や左よりも、その間にあることが多いものです。バランス感覚や多様性を大事にします。

現場や地方を大事にする。

あだちきよし49歳

無所属

あだちきよし 5つの政策

地域主体の地方創生

- ・農林水産業をさらに育てるため、地場産品の海外輸出や地域の生産・加工・流通の六次産業化を強化する。
- ・各地域が特色や実情を踏まえ、創意工夫しながら自律した地方創生を推進できるように、中央主導ではなく、地方や中小企業が自由に使える財源を確保する。

子どもの方を向いた教育

- ・先生でなくても対応できる業務や課外活動はその道のプロに任せ、現場の先生が子どもに向き合い、授業やその準備に専念できる環境や制度をつくる。
- ・先生が本来の仕事に集中することにより、子どものやる気を引き出し、いじめや差別の芽を摘み、楽しく安心して通える学校をつくる。

子育て支援

- ・「仕事か、子育てか」の二者択一ではなく、希望する女性に働き続けられるよう、企業や事業者と連携しながら、出産・子育て・就労に関する支援策を男女問わず充実させる。

- ・保育士の待遇を改善し保育の質を高め、待機児童の解消や安心して子どもを預けられる環境を整備する。

医療・健康・高齢者支援

- ・健康寿命の伸長、医療従事者の負担軽減、介護・医療費の削減の観点から、日常生活改善を中心とした予防医療を推進する仕組みをつくり、過度な通院や投薬をなくす。
- ・意欲や能力があれば年齢フリーで働ける高齢者雇用制度を充実させる。
- ・一人暮らしの高齢者等の社会的孤立を防ぐため地域セーフティネットを構築し、交通弱者のための乗合タクシー・バス等の交通システムを整備・支援する。

平和主義と多様性の尊重

- ・「政治家の究極の使命は絶対に戦争しないこと」を信条に、憲法が謳う平和主義を貫く。
- ・多様な個性や価値観が認められ、個人が社会から排除されることなく、自らの意思で生き方を選択できる社会をつくる。

略歴

1969年(昭和44年)12月14日生まれ
1988年 大分県立別府青山高等学校卒業
1992年 上智大学法学部国際関係法学科卒業
1992年 新日鉄(現・日本製鉄)入社
1999年 朝日新聞社 入社
2014年 朝日新聞社 退職
2015年 別府市長選に出馬
2015年 別府市内で旅行会社を創業


現在

(株)DMOジャパン 代表取締役 別府青山・翔青高等学校 同窓会長
淡窓伝光霊流日本詩道会 広報室長

趣味 テニス、山登り、読書、ギター

家族 妻、娘(22歳)、息子(19歳)

好きな言葉 「心高身低」「ふだんを変える。それがいちばん人生を変える」



詳しくはこちら

あだちきよし
49歳

※欄は記入しないでください。

※受付日時	※受付番号	※受付者印

大分県選挙管理委員会